

愛知県立一宮特別支援学校（肢体不自由）

1 学校概要

設置部・設置学科	幼稚部・小学部・中学部・高等部（普通科）
特色ある取組	
<p>○県内の肢体不自由特別支援学校の中で、唯一、幼稚部があります。</p> <p>○日常的に医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿等）が必要な幼児児童生徒には、保護者の協力を得ながら、看護師が医療的ケアを実施しています。</p> <p>○給食は摂食機能に応じて、通常食、ペースト状、きざみ食など7種類の形態で提供しています。</p> <p>○遠距離通学をカバーするために寄宿舎が設置されています。</p>	
地域とのつながり・地域での役割	
<p><学校間交流> 葉栗小学校、葉栗中学校、一宮北高校との授業交流、ホームルーム交流や生徒会執行部交流を行っています。</p> <p><居住地校交流> 小学部と中学部の希望者は、年に数回、居住地の小学校や中学校で授業交流を行っています。</p> <p><自立活動ケース研修、支援機器相談会等> 大学、医療機関等の専門機関と連携し、個々にアドバイスを受け、学校や家庭生活に生かす取組を行っています。</p> <p><みんなプロジェクト> 地域の繊維関連機関・企業など地域の地場産業と連携し、PTAや職員も含め、障害がある子どもたちの生活を豊かにする小物制作等を行っています。</p>	
高等部卒業生の主な進路	
<p><進学> 大学、職業能力開発校</p> <p><一般就労> 公務員、企業</p> <p><福祉就労> 生活介護等、就労継続支援、就労移行支援 等</p> <p><その他> 福祉型、医療型入所施設</p>	
一言アピール	
<p>幼児児童生徒が『できた、分かった』が実感でき、楽しく充実した学校（寄宿舎）生活を送ることができるよう、職員一丸となって全力で支援します。</p>	

2 スクール・ポリシー

このような幼児児童生徒の育成を目指します
<p>幼稚部・小学部・中学部・高等部の各部の独自性と一貫性を柱とし、幼児児童生徒一人一人の特性と能力に応じた教育をすすめ、家庭や社会の成員として、力強く生き抜く人間を育成するため、各部がめざす「子ども像」を次のとおりとします。</p> <p><幼稚部> なかよく遊ぶ子</p> <p><小学部> いきいきと学ぶ子</p> <p><中学部> 自分の力を伸ばす子</p> <p><高等部> 自分らしく生きる子</p>
このように学びます
<p>○一人一人の障害の状態や将来の姿を見据えて作成した個別の指導計画を基に、三つの教育課程で個々の学びを進めます。</p> <p>○日常生活とのつながりを意識した体験的な学習を通して、社会性の向上を図ります。</p>